

2023年7月 (No.409)

主な内容とページ

| | |
|-----------------------------------|----|
| 日本の半導体関連上場企業、最高業績を更新 | 1 |
| 利益の伸び顕著 | 2 |
| 売上高トップの信越化学工業 | 4 |
| ルネサス、12年ぶり、ロームは22年ぶりの過去最高売上 | 4 |
| 利益額、信越化学が圧倒的 | 7 |
| 57社が売上利益ともに過去最高 | 9 |
| 分野別での利益率上位5社 | 11 |
| 微細加工技術と巨大工場(SRL だより) | 14 |

日本の半導体関連上場企業、最高業績を更新

半導体を収益の柱としている上場企業 131 社の 22 年度業績は過去最高を更新した。

1. 対象 131 社の総売上は前期比 19.7%増の 21.60 兆円、経常利益は同 32.2%増の 3.79 兆円と増収そして大幅増益となった。経常利益率は前年度の 16.8%から 17.6%に向上した。
2. 131 社中、72 社が売上、65 社が利益でそれぞれ過去最高を更新した。うち 55 社は売上および利益ともに最高を更新。輝く成果を達成した。
3. 2年続きの活況を反映し、半導体関連上場企業の業績は好転。海外の同業に比べても見劣りしない水準になってきた。

微細加工技術と巨大工場

当時は築地の日本合成ゴム(現 JSR)を訪問したのは 70 年代中期。フォトレジストに進出する説明で「製品は、これまでのキログラムやトン単位からグラム単位。工場も小さくなります」と聞いたのが印象に残っている。大きな市場は自動車用タイヤから半導体に変わる。

当時のレジスト市場は、確かプリント配線板用が中心で、半導体用は限られた分野だった。市場は小さく、半導体メーカーは化学のことはわかってなく、このままでは壁にぶつかると専門トップの嘆きも聞かれた。JSR は、その後苦勞したようだが、今や祖業を売却、半導体レジストやバイオの会社に変わりつつある。

そのレジストが活躍する最先端半導体工場は、巨大で巨費が投じられる。先端露光機は、大きく、その効率活用には巨大な空間が必要。なにやらわが国ディスプレイ工場が歩んだ道に似ている。微細加工技術と巨大工場、いずれ限界に達するが、何か突破口はないのだろうか。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2023 年 版權所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2023 年 7 月(毎月 1 回発行)第 34 卷 7 号(通卷 409 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

© (株)SRL 2023

SRL Monthly Report

July 2023, No.409

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

購読料金 1 年分(12 号)98,000 円(税別) 107,800 円(税込み)